

ROSE

文化情報誌
ロゼ

2011 SUMMER Vol.76

ROSE THEATRE
ART INFORMATION
OF FUJICITY
CULTURE MAGAZINE
ROSE



カルタハカタル

潤井川かるたの小径から

INTERVIEW

佐渡 裕

特集 ロゼ・クラシックカフェ
浦久俊彦

EVENT CALENDAR 2011

特集 INTERVIEW
エレジー 父の夢は舞う 角替和枝

THE STAGE SIDE STORY

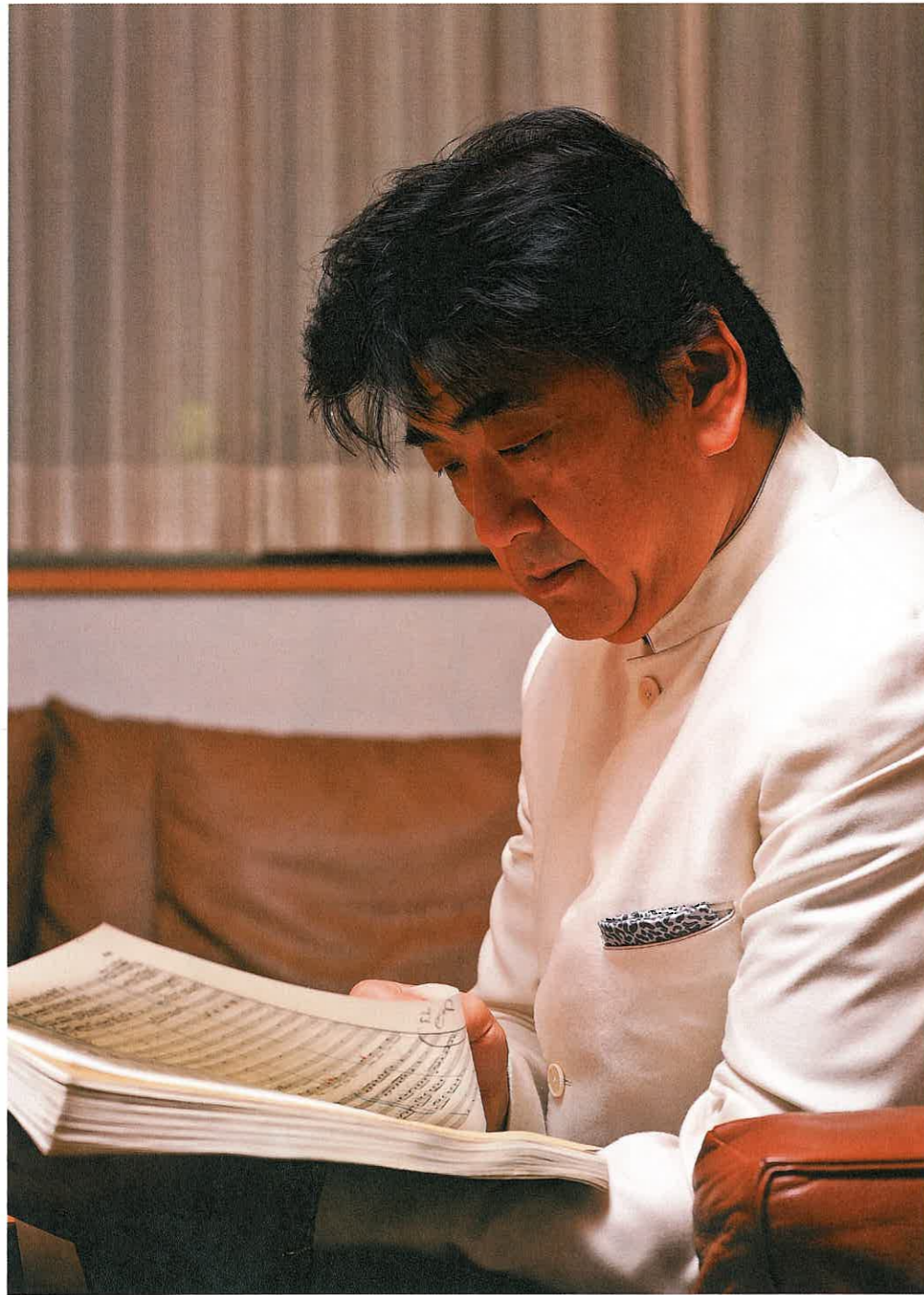
Pick up Artists

Flash Back

INFORMATION FROM ROSE THEATRE



Yutaka Sado



ドイツの名門ベルリン・ドイツ交響楽団と日本初公演。
世界で活躍する指揮者、佐渡裕さんにお話をうかがいました。

Contents

- **カルタハカタル**
潤井川かるたの小径から 1
- INTERVIEW
佐渡裕
小学校の卒業文集にはすでに「ベルリンフィルの指揮者になりたい」って書いていたんですよ。 2
- **特集** ロゼクラシックカフェVol.2
「世界のオーケストラ」
瀬久俊彦 5
- **EVENT CALENDAR 2011**
平成23年度自主事業
情報先取り! 魅力あるイベント満載! 7
- **特集** INTERVIEW
エレジー 父の夢は舞う
角替和枝 9
- THE STAGE SIDE STORY
ROSE THEATRE MUSICAL 2011
「A Passage Point」 11
- Pick up Artists
<Report> 新進アーティスト展 12
- **Flash Back**
■ ロゼシアター主催事業
2011年2~4月 13
- INFORMATION FROM ROSE THEATRE
◆ 改修工事に伴う大ホール貸出し中止について
◆ チケット購入方法
◆ レストラン「ロゼ」のバイキング
◆ プレゼントクイズ
◆ 休館日のお知らせ
◆ 観劇後記 14

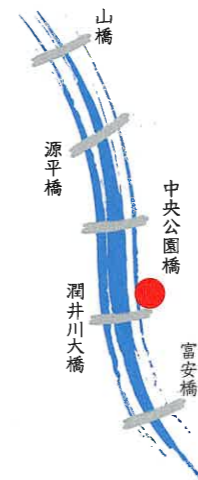


この歌の解釈には二つの説があります。ひとつは前訳のとおり、宮中にかかる御階(階段)を、天上の鵲の架け橋になぞらえて詠んだとされる説。もうひとつは、まるで白霜が広がるかのような天の川の輝きに夜の深まりを覚え、その感興を詠んだとする説です。どちらも夜の闇に浮かぶ静謐な情景を巧みに表し、美しいコントラストと情趣を感じさせます。

鵲の橋といえは、七夕伝説をもつてよく知られるところですが、その源はやはり大陸にあるようです。もともと中国の行事であった七夕が、牽牛織女の説話とともに日本に伝わったのは奈良時代。銀河を舞台に繰り広げられる物語は、我が国でも広く親しまれました。さらに江戸時代になると、新しい発展を遂げます。今日七夕は全国各地に広まり地域の風俗や特色を織り交ぜ、様々な行事、祭事が行われています。

まもなく東北三大祭りのひとつ「仙台七夕まつり」が幕を開けます。いうまでもなく今年も特別な意味を持つ開催です。震災からの再起を誓う人々の想いが、復興への揺るぎない架け橋となることを心より願います。

※八月六日・八日で開催



ロゼシアターの東を流れる潤井川。山橋から富安橋までの沿堤は、「潤井川かるたの小径」と名づけられ、百人一首を彫り込んだ石版百枚が、道行く人々を楽しませてくれます。



中納言家持
(ちゅうなごんやかもち 718?~785)
大伴家持。奈良時代後期の歌人。三十六歌仙のひとり。「万葉集」の編者として有名。



かるたは語る
潤井川かるたの小径から

かきぎの 渡せし橋におく霜の
白きを見れば 夜ぞ更けにける 中納言家持

(訳) 宮中の御階が霜に白く覆われる様子を目にすれば、
すつかり夜も更けてしまったのだなあ。

小学校の卒業文集にはすでに「ベルリン・フィルの指揮者になりたい」って書いてるんですよ。



音楽を始められたのはいつ頃からですか。

はつきりとした時期は覚えていないくらい、気が付いたら母のひざの上でピアノを触っているのが当たり前でした。母はピアノや歌を教えていたので、家の中にはいつも音楽がありました。それで僕も自然と音楽に親しむようになったのです。

指揮者になろうと思われたきっかけは何でしょう。

演奏会に行くとき静寂の中に指揮者が登場してハリー・ポッターが魔法の杖を振るかのよう指揮棒が振られて音楽が始まる、その瞬間がすごく好きでした。僕は子供の頃に合唱団に入っていたし、フルートも学んでいましたが、指揮者への憧れはずっと持っていたように思います。小学校の卒業文集にはすでに「ベルリン・フィルの指揮者になりたい」って書いてるんですよ。

職業として決心されたのは。

本当に指揮を自分の職にしようと思ったのは二十歳の時です。他にも音楽の先生とか、フルートが専門だったのでフルート奏者になる、という選択もありましたが、どれもピンとこなかった。やはり子供の頃からの「指揮者になりたい」という思いが自分の中にずっとあったので、吹奏楽やコーラスの指導や指揮から活動を始めました。

大きな転機は、1987年にアメリカのタンクフルード音楽祭に参加したことですね。そこでバインスタインさんと小澤征爾さんに出会い、直接指導を受けることができました。その後二人のアシスタントを務めることになり、今の僕の基礎となったのです。

印象に残っている嬉しかったこと、大変だったことを教えてください。

1989年にフランスのプザンソン国際指揮者コンクールで優勝した後、指揮者として演奏会の依頼を受け、初給料をもらった時はすごく嬉しかったですね。日本レストランで寿司を食べ、ソファを買って。当時は狭いアパートに住んでおり、僕の収入ではソファなんて買えなかった

んです。買ったソファはそんなに高価な物ではなかったけれど、「なんてソファって体を休めてくれるんだろう」と感動したのを覚えています。

また、オーデションやリハーサルの見学など、勉強のためにヨーロッパを巡りましたが、ヨーロッパは陸続きなので、寝袋を持って夜行列車での移動が多かったです。いまだに列車に乗るとその当時の緊張、不安、ワクワク、自信のなさ、そういう感情がよみがえってくる感じがしますね。

音楽を通して伝えたいことをお願いします。

正直な話、音楽が無くて人も生きていけないんです。衣食住に比べると、音楽は決して「二番必要な物」ではないんですけど、でも、人と一緒に演奏する、聴く、そうした共存性のおもしろさや、生きている証のような物が音楽にはあると思うんです。自分の周りに好きな曲や楽しいと思える音楽があると、人生が本当に豊かになる。音楽は心のビタミンです。子どもたちにも、本当に自分の好きな音を見つけて欲しいと思います。

ベルリン・ドイツ交響楽団についてお聞きします。

ドイツ人と共同で二つの物を作り上げたという感覚を、本当に実感することできた初めての楽団がベルリン・ドイツ交響楽団です。非常に技術力があり、様々なスタイルの曲に対応できる柔軟性と、燃え上がるようなパッションをもったオーケストラです。

初めてこの楽団の指揮台に立った時、最初からすごく真面目で堅苦しい雰囲気でした。ところが最後のリハーサルが終わった時に、皆が一斉に拍手してくれた。ゲストの指揮者だから社交辞令かなと思っていたら、団員の一人が「こんな光景は見たことがない。今まで指揮者に拍手を送ったことなんてなかった！」と興奮して話しかけてくれたのです。こうして彼らとの間に自然と信頼関係が生まれ、演奏会に定期的に呼ばれるようになりました。今回日本でツアーを行えるのは、ベルリンで彼らとの10年を越える付き合いの中で築き上げてきたことの証だと思っています。

ピアノのエフゲニ・ボジャノフさんについてお聞きします。

ものすごく個性があります。だけど彼の音は自分よりではなく、音楽の法則に則って演奏しているの、不思議と自然に聞こえるんです。スリルがあたり神秘的な音を出したり、曲を巧みに表現することができる、才能の溢れるアーティストです。今年の1月に、僕が芸術監督を務める兵庫芸術文化センター管弦楽団のツアーで共演しましたが、本当に楽しかったですね。とにかく音楽的で、技術もある。間違いなく彼はこの先ピアノ界の中で重要な奏者になっていくと思います。

最後に、今回の演奏会の魅力を教えてください。

ベルリン・ドイツ交響楽団とエフゲニ、僕。このコンビ、あるいはトリオでないと出せない音を響かせることができると思います。メンバーと僕の信頼関係や、このオーケストラの技術力、柔軟性、そういった物をはつきりで見せられるのではないのでしょうか。そして、そこにエフゲニが加わる。彼の信頼関係と友情もあるので、特別なツアーになるでしょう。プログラムもドイツ物をベースにした魅力的なラインナップです。オーケストラの醍醐味を十分に味わってもらえます。オーケストラは集団で楽器を鳴らしますが、不思議なことに、その音色からは一人ひとりの顔が見えてくるのです。種類の違う楽器が集まり、一緒になって新しい音楽が誕生する。人間味がありながら神秘的で美しい演奏となるでしょう。ぜひ楽しみにしてみてください。

ありがとうございました。

取材文/林克代 撮影/廣瀬貴礼

〈公演情報〉 佐渡 裕&ベルリン・ドイツ交響楽団演奏会

2011.10.24(月) 開場18:30 開演19:00

●入場料(全席指定・税込)
SS席:18,000円 S席:16,000円 A席:12,000円(学生6,000円) B席:9,000円(学生4,500円) ※未就学児入場不可

●ロゼシアター大ホール

■指揮:佐渡 裕

管弦楽:ベルリン・ドイツ交響楽団

ピアノ:エフゲニ・ボジャノフ

曲目:ベートーヴェン:序曲「レオノーレ」第3番 Op.72b

モーツァルト:ピアノ協奏曲第23番イ長調 K.488

チャイコフスキー:交響曲第5番

●チケット発売日:Web&窓口 6/26(日)9:00~



公演情報

佐渡裕 指揮
ベルリン・ドイツ交響楽団
日本ツアー2011

指揮:佐渡裕 管弦楽:ベルリン・ドイツ交響楽団
ピアノ:エフゲニ・ボジャノフ

ベルリンの名門オーケストラ「ベルリン・ドイツ交響楽団」(DSO)を率いての日本ツアー。楽団員との信頼関係も非常に厚く、ベルリンでも話題の名演を繰り広げている<佐渡×DSO>の抜群の相性は見逃せません!ソリストには、世界が今最も注目する26歳のピアニスト、エフゲニ・ボジャノフを迎えます。

10月24日(月) 開場/18:30 開演/19:00
ロゼシアター大ホール

■入場料(全席指定) / SS席: 18,000円
S席: 16,000円
A席: 12,000円(学生:6,000円)
B席: 9,000円(学生:4,500円)
※未就学児入場不可

■チケット発売日/web・窓口: 6月26日(日) 9:00~
◇ロゼシアターHP (<http://rose-theatre.jp>)
◇ロゼシアターモバイルサイト
(http://rose-theatre.jp/mobile/top_mo.htm)
※ロゼフレンドシップへの登録が必要です。

■問い合わせ
ロゼシアター 0545-60-2500 (9:00~20:00)

<ベルリン・ドイツ交響楽団>
ベルリン・ドイツ交響楽団(DSO)は、1946年に設立されたドイツの名門オーケストラである。1964年、若き日のロリン・マゼールが芸術監督に就任し、その後、82年にリカルド・シャイー、89年にウラディーミル・アシュケナージ(〜99年)らが次々首席指揮者に就任。93年に東西統一を受けて現在の「ベルリン・ドイツ交響楽団」に改称した。2000/2001年シーズンより首席指揮者兼芸術監督としてケント・ナガノが就任、現在は桂冠指揮者である。その後2007年9月にインゴ・メッツマッハーがドイツ人としては初めて首席指揮者兼芸術監督に就任。これまでマゼール、アシュケナージ、ナガノ、メッツマッハーとたびたび来日公演を行い、好評を得ている。佐渡裕はこれまでに5シーズンの定期演奏会に客演し、3枚のCDをリリースしている。



写真2
現在のベルリン・フィルハーモニー外観

自主運営のオーケストラも次々に誕生します。ウィーン・フィルと並び称されるベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の発祥は、「ビルゼ楽団」という私設オーケストラを脱退したメンバーが1882年に結成した楽団でした。

「フィルハーモニー」に
こめられた友愛の想い

そして、20世紀。二度にわたる世界大戦という悲劇によって荒廃したヨーロッパ各都市を復興させる大きな役割を担ったのが「音楽」でした。市民の勇気を奮い立たせ、希望をつなぐ懸け橋として、市民が共同で資金を負担しオーケストラを運営しようという動きが活発になります。オーケストラ名に都市名が冠されるのは、その都市にあるオーケストラだからというだけでなく、市民たちとともに、市民に支えられて発展してきた背景があるからです。そして、それを

象徴するのが「フィルハーモニー」ということばです。「フィルハーモニー」とは、「調和を愛する」というギリシャ語から、「音楽を愛するものたち」という意味でオーケストラ名に付加されるとともに、「フィルハーモニー」という名前のホールも誕生しました(写真2)。市民の誇りとしてのオーケストラ。平和のシンボルとしてのオーケストラ。そこには、音楽を通じて人々が調和し、ともに感動を分かち合おうという願いと想いがこめられているのです。

浦久 俊彦

■プロフィール

浦久 俊彦

1961年生まれ。パリで作曲、器楽、歴史社会学、哲学、美学などを学ぶ。ヨーロッパを中心に、作曲・執筆活動に加え、フランス・イヨヌ歴史文化財団で企画・プロデュースを担当。音楽だけでなく美術・伝統工芸など、広く芸術・文化全般にわたるプロジェクトを手がける。帰国後、ピアニスト仲道都代のプロジェクト「ショパン鍵盤のミステリー」などをはじめ、数々のコンサート企画、ホール・プロデュースなど多彩な活動を展開している。現在、三井住友海上しらかわホールエグゼクティブ・ディレクター。



ROSE Classic Cafe vol.2

浦久 俊彦

ロゼ流オーケストラ講座
オーケストラをより深く楽しむ為に

オーケストラの魅力は何でしょうか? 多彩な楽器と奏者たちの一糸乱れぬアンサンブル。圧倒的な迫力と繊細なハーモニー。カリスマ的な指揮者など色々と挙げられますが、ポピュラーな存在でありながらも意外に知られていないこともあります。

いえます。しかし、その運営は? とはいえ、日本だけでなく世界中のほとんどのオーケストラは、助成金や寄付金、スポンサー料なしでは成り立たないという厳しい経済事情があります。それでもなお、なぜオーケストラは必要とされてきたのでしょうか。

「宮廷」から「歌劇場」へ
「オーケストラ」と市民革命

近代オーケストラの誕生は、約400年前の宮廷楽団に遡ることができます。楽団は、宮廷音楽会(写真1)だけでなく、王侯貴族たちの権威を示すためにも格好の存在でした。当時はまだ規模も小さく、「晩餐会のBGMを演奏する楽団」というイメージに近く、楽団員たちの待遇もほとんどが召使同然。領主の気まぐれで解雇されたり、いきなり解散させられたりということもあつたようです。ところが、宮廷を根底から覆す大事件が勃発します。封建制を打破しようとするフランス革命などの市民革命です。結果、王侯貴族は没落し、宮廷楽団のほとんどは歴史から姿を消します。当時のヨーロッパで「レストラン」が一気に普及した

「オペラ」から「交響曲」へ
「オーケストラ」の黄金時代

19世紀以降、市民やブルジョワたちの娯楽、社交の場として各都市で競うように建設された歌劇場は、オペラ全盛期とともに巨大化し、歌劇場付き楽団(オーケストラ)の規模も充実してきます。やがて、ペートーヴェンの出現などで「交響曲の時代」が到来すると、オペラでは狭いピットに押し込まれていたオーケストラは、「躍舞台の主役に躍り出ます。オペラ・オーケストラがシンフォニック・オーケストラとしても活動の場を拓けるのはこのころからです。たとえば、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団は、ウィーン宮廷歌劇場(のちの国立歌劇場)管弦楽団のメンバーたちが、1842年に開催した演奏会が発端点でした。オーケストラの黄金時代がやってくると、劇場に付随しない



写真1
「サンシー宮殿における
フリードリヒ大王のフルートコンサート」
アドルフ・フォン・メンツェル(1815-1905)

ロゼ流クラシック
カフェエッセンス
第2回



EVENT CALENDAR 2011

9 SEPTEMBER

9/2 金曜日 **MYSTERY NIGHT TOUR 2011 稲川淳二の怪談ナイト**
 中ホール
 開場/18:30 開演/19:00
 ●入場料(全席指定) 均一/4,200円 ※未就学児入場不可
 チケット発売中



9/3 土曜日 「エレジー」公演関連企画 **朝倉摂舞台美術ワークショップ**
 第1会議室 13:00~
 2,000円(材料費込)
 ※7月16日(土)9:00~ 窓口にて参加受付開始

9/16 金曜日 **地球は教室 平和にピント! 世界の教え子**
 展示室
 入場無料



9/18 日曜日 **東儀秀樹×古澤巖 全国ツアー2011「午後の汀」**
 大ホール
 開場/15:30 開演/16:00
 ●入場料(全席指定) 一般/5,000円 学生/2,500円
 ※未就学児入場不可
 チケット発売中



9/23 金曜日 **楽器の魅力シリーズ「パーカッション de ロゼ」**
 大ホール
 9月23日(金) マリンバランド スペシャルコンサート 入場無料(要整理券)
 中ホール 開場15:30 開演16:00
 R-P-A-T-パーカッションLIVE
 9月24日(土) 中ホール 開場18:30 開演19:00
 入場料(全席自由) 一般/3,000円 学生/1,500円 ※未就学児入場不可
 9月25日(日) R-P-A-T-パーカッションLIVE
 中ホール 開場13:30 開演14:00
 入場料(全席自由) 一般/3,000円 学生/1,500円 ※未就学児入場不可
 ◆1階席は学生招待となり、2階席のみの販売となります。
 9月25日(日) 中高生のためのパーカッションワークショップ(講師:R-P-A-T-T)
 リハーサル室ほか 10:00~12:30
 参加費1,500円(LIVEチケット代含む)
 チケット発売日/web: 6月29日(水)10:00~ 窓口:7月3日(日)9:00~

9/30 金曜日 **ハッピー・タンゴ・アワー!**
 出演:須川展也(サクソフォン)、小松亮太(バンドネオン)、奥村愛(ヴァイオリン) 他
 中ホール
 開場/18:30 開演/19:00
 ●入場料(全席指定) 1階席/5,000円 2階席/4,000円 ※未就学児入場不可
 チケット発売日/web: 6月30日(木)10:00~ 窓口:7月2日(土)9:00~



※ロゼシアター主催公演のチケット購入方法については14ページをご覧ください。
 ※表示価格は全て消費税が含まれております。

8 AUGUST

7/30 土曜日 **ロゼこどもサマフェスタ2011**
 ~創作紙人形~多賀紙人形展
 協力:多賀紙人形
 4階和室
 10:00~18:00(最終日17:00まで)
 入場無料



8/2 火曜日 **チケット発売日 ザルツブルガー・ゾリステン**
 (10:00~) web
 小ホール
 公演日/11月5日(土)
 開場/18:00 開演/18:30
 入場料(全席指定) 一般/3,500円 学生/1,500円
 ※未就学児入場不可



8/3 水曜日 **ロゼこどもコンサート**
 協力:富士クラシック協会
 中ホール
 1回目(0歳から入場可) 開場/10:30 開演/11:00
 2回目(3歳から入場可) 開場/13:30 開演/14:00
 ●入場料(全席指定・税込) 均一/500円 ※3歳以上有料
 チケット発売日/web: 6月21日(火)10:00~ 窓口:6月24日(金)9:00~



8/5 金曜日 **情熱のキューバ**
 ~アウグスト・エンリケス&ブエナ・ビスタ・オールスターズ~
 大ホール
 開場/18:30 開演/19:00
 ●入場料(全席指定) 均一/4,500円
 ※未就学児入場不可
 チケット発売中



8/9 火曜日 **スタンプラリー**
 4階会議室ほか
 10:00~14:00(スタート13:30まで)
 参加無料



8/10 水曜日 **夏休みこどもアート展**
 1階ガリア
 (最終日~17:00)



8/11 木曜日 **ホール探検隊**
 大ホール
 8月11日(木) 対象:中学生以上 18:30~(定員15名)
 8月12日(金) 対象:小学生とその保護者 10:00~
 13:00~(定員各20名)
 参加無料 受付/8月2日(火)9:00~



8/20 土曜日 **ロゼ・トレインフェスタ2011**
 協力:フジレールクラブ
 展示室
 8月20日(土) 13:00~17:00
 8月21日(日) 10:00~15:00
 入場無料



6 JUNE

6/26 日曜日 **チケット発売日 佐渡裕&ベルリン・ドイツ交響楽団**
 (9:00~) web&窓口
 指揮:佐渡裕
 演奏:ベルリン・ドイツ交響楽団
 ピアノ:エフゲニ・ボジャノフ
 大ホール
 公演日/10月24日(月)
 開場/18:30 開演/19:00
 入場料(全席指定)
 SS席/18,000円
 S席/16,000円
 A席/12,000円(学生/6,000円)
 B席/9,000円(学生/4,500円)
 ※未就学児入場不可
 曲目:ベートーヴェン:序曲「レオノーレ」第3番 Op.72b
 モーツァルト:ピアノ協奏曲第23番イ長調 K.488
 チャイコフスキー:交響曲第5番



7 JULY

7/8 金曜日 **ふじ少年少女芸術劇場 小学生招待コンサート**
 演奏:静岡交響楽団
 大ホール 開演/14:00
 ●入場料(全席指定) 均一/500円
 チケット発売日/web: 6月3日(金)10:00~ 窓口:6月6日(月)9:00~

7/9 土曜日 **チケット発売日 能「赫夜」・狂言「磁石」鑑賞会**
 (9:00~) web&窓口
 出演:能:津村権次郎
 狂言:野村万作・野村萬斎
 大ホール
 公演日/10月29日(土)
 開場/13:00 開演/13:30
 入場料(全席指定)
 S席/5,000円
 A席/3,000円(学生/1,000円)



7/14 木曜日 **チケット発売日 エレジー 父の夢は舞う**
 (10:00~) web
 作:清水邦夫 演出:西川信廣
 出演:平幹二朗、坂部文昭、角替和枝、山本郁子、大沢健
 中ホール 公演日/10月20日(木)
 開場/18:30 開演/19:00
 入場料(全席指定)
 一般/4,200円 学生/1,800円
 ※未就学児入場不可
 ※7月16日(土)より
 朝倉摂舞台美術ワークショップ受付開始



7/21 木曜日 **チケット発売日 米村でんじろうサイエンスショー**
 (10:00~) web
 大ホール(1階席のみ)
 公演日/11月23日(水・祝)
 1回目 開場/13:00 開演/13:30
 2回目 開場/15:30 開演/16:00
 入場料(全席指定)
 均一/2,500円 未就学児/1,000円
 ※3歳以上有料、2歳以下のお子様は大人1名につき1名までひざ上鑑賞可。
 ただし、お席を使用する場合は有料。



7/30 土曜日 **ROSE THEATRE MUSICAL 2011 『A Passage Ponit』**
 中ホール
 7月30日 開場/18:00 開演/18:30
 7月31日 開場/12:30 開演/13:00
 ●入場料(全席指定) 均一/2,000円 ※未就学児入場不可
 チケット発売中

<ものがたり>
 時は現代、ある4人の女性が起業を決意。
 業界内で成功するために奇想天外なアイデアを思いつく。
 それは、「恋愛禁止」「週一断食」「睡眠四時間」という3つの誓い!
 そして、ナント「男装」...?!
 ...果たして彼女たちの行き着く先は?
 オリジナルのストーリーと楽曲でお届けするコメディタッチなミュージカル。

角替和枝
つのがえ かずえ

作品と観客が出会う。お客さんと私たちがめぐりあう。その瞬間しかない。そういった芸術性だと思います。



「エレジー 父の夢は舞う」に出演される
地元出身の女優・角替和枝さんに
東京・渋谷にある事務所にてお話を伺いました。



最後に読者の皆さんにメッセージをお願いします。
わたしたちはお芝居しか出来ません。けれどそれで皆さんが「がんばるぞ」という気持ちになつていただければそれに頑張ります。是非劇場に足を運んでみてください。

●角替和枝プロフィール

1954年(昭和29年)10月21日生まれ。静岡県出身。つかこうへい事務所を経て、劇団東京乾電池に所属。以降、劇団のみならず様々な舞台に出演。また映画やテレビでも、個性豊かな演技力で愛嬌ある存在感を放つ。主な出演舞台に02年「サクラババオー」パルコ劇場、06年「獅堂流 森の石松」新橋演舞場、07年「チャングムの誓い」日生劇場など。映画では94年「居酒屋ゆうれい」、97年「虹をつかむ男」、09年「釣りバカ日誌20 ファイナル」ほか多数。現在、NHK連続ドラマ小説「おひさま」に出演中。

二〇〇九年には「秘密の花園」で初の演出を手がけられましたが、いかがでしたか。

本来が演出家ではないので、準備のためにも1年前という長期スパンで取り組みました。やはり楽しかったですよ、考えるのが好きだから。ましてその時演出を手がけた戯曲は、娘がお腹にいる時に本多劇場で観た唐十郎の作品。大好きな芝居で、自分自身の思い入れが強い戯曲でした。本当に面白い作業でした。今の役者をやる上でも勉強になっています。

テレビ、映画、舞台と幅広く活躍される角替さんにとって「舞台」の魅力とはなんでしょうか。

はかなさ、ですかね。「二期一会」かな。ちいさな奇跡が積み重なって作品と観客が出会う、お客さんと私たちがめぐりあう。その瞬間しかない。そういった芸術性だと思います。役者として映画やテレビの仕事もさせていただきたくれど、やっぱり舞台が一番贅沢な芸術だと思います。

文/渡井理恵 撮影/廣瀬貴礼

「貴女」のイメージをチェックして、二人の息子も俳優という正しく役者一家ですが、ご家族でお芝居の話などされますか。

富士川町の出身で、いらつしやる角替さんですが、なにか地元の思い出などありますか。富士川町と富士市が合併すると幼稚園に聞いたときは驚きました。「富士川町」というきれいな響きが好きだったので、やはり元町民としては残念でした。あとは、吉原高校出身なのですが、昔はよく学校帰りに天神屋さんに行つてはおにぎりを買って食べていました。吉原中央駅の隣にある、あそこです。好きな具はやっぱりしらす！あとは昆布もいいですね。あのおにぎりに勝るおにぎりを未だに私は食べたことがありません。東京に進出して欲しいと思うくらい大好きな思い出の味ですね。

役者を目指すことになったきっかけをお聞かせ下さい。学生時代は高校演劇部に入っていて、その後芝居がやりたくて上京したのですが、はつきりした意思やきっかけがあったわけではなかったと思います。子どもの頃はとにかく本が好きで、友達と遊ぶより一人で黙々と本を読んでいるほうが好きというくらい。そんなに好きならば、小学生の頃に母親が毎月一冊ずつ届く、全五〇冊のシリーズ本を買ってくれました。子ども向けといえながら、過度の編集を加えてないのにもかかわらず、今でも大切にしていますし、私の娘もこれを読んで育ちました。とにかく、想像することや考える事が好きな子どもだったので、空想の世界が自分の中に少しずつ蓄積されて、そういった感情が自然と芝居に繋がっていったのだと思います。

普段はどのようなスタイルで役作りをしていますか。難しいですね。話が長くなつちゃう(笑)映画、テレビ、舞台と全然違うものから。私の場合はとにかく色々な映画や芝居を見ます。特に映画の中にヒントがあって、引き出しを増やしてくれます。あとは、日常生活の中。たとえば、貴女(とインタビューア

1に向かつて、貴女の印象をチェックして、二人の息子も俳優という正しく役者一家ですが、ご家族でお芝居の話などされますか。

「ご主人でいらつしやる柄本明さんをはじめ、二人の息子も俳優という正しく役者一家ですが、ご家族でお芝居の話などされますか。」

公演情報

「エレジー 父の夢は舞う」

平成23年10月20日(木)
富士市文化会館ロゼシアター 中ホール
●18:30開場 19:00開演
●料金(全席指定):一般4,200円 学生1,800円
作:清水邦夫
演出:西川信廣(文学座)
出演:平幹二郎 坂部文昭 角替和枝 山本郁子 大沢健
【チケット発売日】
7月14日(木)10:00~(Webのみ)
*窓口取扱は7月16日(土)9:00より開始
○プレイガイド チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード/411-979)



ワークショップ情報

「朝倉摂 舞台美術ワークショップ」

平成23年9月3日(土) ●13:00~
富士市文化会館ロゼシアター4階 第1会議室
参加費2,000円(教材費込み) 定員30名
チケット発売日:7月16日(土)9:00~ *窓口のみ取扱
日本舞台美術界のトップを走り続ける寵児がついに来露決定!!
今回の「エレジー」のテキストを元に、
舞台美術を作り上げる過程をご紹介します。



朝倉 摂(あさくら せつ)
東京生まれ。日本画を学び、1953年村上松園賞を受賞。1970年に渡米。これを契機に本格的に舞台の仕事始める。実験的な演劇から伝統演劇、オペラまで幅広く手がける。1980年テアトロ演劇賞、1986年芸術祭賞、1988年朝日賞、1991年紀伊国屋演劇賞、1995年読売演劇賞最優秀スタッフ賞を受賞。2006年度文化功労賞を顕彰。日本舞台美術家協会理事(JASTA)、日本劇場技術家協会会長(OISTAT)、劇場演出空間技術協会理事(JATET)を務めている。

PICK UP ARTIST

Art Generation 2011
新進アーティスト作品展

優秀賞受賞

秦 嘉央理 はた かおり
富士市出身 22歳



作品名「eternity」

■受賞作品について教えてください。

編みかけの洋服、編んでいる行為は「eternity/永遠」を表現しています。編んだ洋服が先に完成して、それをどのように展示したら100%の作品になるのか考えた末このようになりました。モデルを探し、洋服を編むのも、撮影もすべて自分でやりました。この作品は今後自分が何をしたいのか、どんな表現をしたいのか、点のような光ではあるけれどようやくつかめてきた作品で、「これが私の作品だ」と紹介できるものだったので出展することにしました。

■美術の道に進むきっかけは？

中学生の時、パリコレのクリスチャン・ディオールのデザイナー、ジョン・ガリアーノのオートクチュールの洋服を見てとても衝撃を受けました。「ファッションもアートなんだ!」と思いました。それからはティーンズ雑誌は読まず、モード雑誌ばかり読んで、高校生になってパソコンを手に入れてから、コレクションばかり見ていました。

■これからは・・・

今回出展した作品のように、服飾の要素を使いアートを表現する“ファッションアート”をやりたいと思います。その中で、自分のやりたいこと、作りたいもの、様々な物事と向き合い前進していこうと思います。

■創作活動が行き詰ったときは・・・

友人に、回り道もせずただ目の前の壁をよじのぼっていく姿が痛々しいといわれたことがあります。私は、ものづくりは、ただ楽しいやおもしろいだけでできるものではないと思っています。制作においていくら苦しくても、それでもやめられないほどの魅力が美術にはあると思います。ですから乗り越えたあと、「だから私はこの世界に浸っていたいんだ」と感じます。障害をひとつひとつ自分で消化していけば、おのずと道はみえてくるのではないのでしょうか。

美術に対する情熱を熱く語ってくれた秦嘉央理さん。受賞の知らせを受けたとき何度も聞き返し、今まで見守ってくれた両親への感謝の気持ちを素直に話してくれました。その気持ちを忘れずにこれからも創作活動に励んでください。

THE STAGESIDE STORY

ROSE THEATRE MUSICAL 2011
A Passage Point

○演出・振付・脚色・作詞／三浦克也
○原作・脚本／矢部哲也
○作曲／海田次朗 ○編曲／大澤紀彰

<ものがたり>

時は現代、ある4人の女性が起業を決意。業界内で成功するために奇想天外なアイデアを思いつく。それは、「恋愛禁止」「週一断食」「睡眠四時間」という3つの誓い!そして、ナント「男装」...?。果たして彼女たちの行き着く先は?オリジナルのストーリーと楽曲でお届けするコメディタッチなミュージカル。

<出演>

立石光博	木村千賀子
横沢真由美	鍋田美江
志田澄美	小野美紀
望月千江	川口美帆
加藤慶	佐野百合沙
安藤遥	諫山由芽
坪井未来	戸高早貴
野中咲沙	渡辺愛菜
井川美紗希	倉田稜子
佐野夏季	佐野瑞季
篠原真奈	鈴木真帆
山崎玲美	安藤唯子
石田遥	風岡絢子
戸高結月	屋比久瑠葵
稲葉成美	倉田香子
柴田りさ子	屋比久季葵
大石瑠花	

2011

7.30 (sat) 開場18:00 開演18:30

7.31 (sun) 開場12:30 開演13:00

ロゼシアター 中ホール

入場料(全席自由)／均一:2,000円
※未就学児入場不可

■チケット発売中

◇ロゼシアターHP (<http://rose-theatre.jp>)
◇ロゼシアターモバイルサイト
(http://rose-theatre.jp/mobile/top_mo.htm)
※ロゼフレンドシップへの登録が必要です。

◎お問い合わせ

ロゼシアター/0545-60-2500 (9:00~20:00)



14年目を迎える市民ミュージカル。

33名の市民キャストが新作オリジナルミュージカルに挑みます。躍動感あふれるダンス、元気いっぱいの歌声、渾身をこめた演技をお楽しみ下さい。



市民スタッフの声

牧野ちや子(衣裳)

平成10年の「名残りの小袖」から衣裳をさせていただいています。毎年違ったミュージカルを上演し、キャストも70名位から多い時で120名が出演することもあったため、その衣裳を考えて製作するのは大変な事も多いですが、様々な人たちと一つの作品を創りあげる喜びも大きいです。今回のミュージカルも衣裳部全員が一丸となってステキな衣裳を作り上げましたので、ご観覧になる際は衣裳にも注目してくださいね。

望月純子(美術)

平成13年の「弥次喜多道中夢枕」から美術に携わらせてもらっています。演出家と舞台監督の板ばさみにあいながらよい舞台になるように苦労していますが、プランだけでなく、製作もボランティアスタッフをはじめとする自分たちの手で行うため、舞台装置が完成してキャストが位置につき照明が当たった時は何とも言えない感動です。今回のミュージカルは大きな舞台装置の転換が見所の一つです。ご期待ください。

横沢真由美(小道具)

平成11年からスタッフとして参加させていただき、過去に2回キャストとしても出演しました。今回はキャストとスタッフの二足の草鞋を履きます!。体力的に辛いこともありますが、本番でカーテンコールが終わって緩帳が下りたときの皆の笑顔と涙を見るのが嬉しくて、何とも言えない充実感と達成感を味わうことができるのでやめられません。小道具は細部にもこだわって製作しているので、前方の席の方はじっくりと観察してください。

望月幸子(メイク)

名残りの小袖からキャストとして参加して、素敵な仲間と出会い親友もでき、たくさんの作品に携わった経験はかなり大きいです。これまで大道具の製作もやりましたが、自分たちが作った道具に照明があたった時の感動。そして、お客様には見えない部分ですが、裏で舞台を動かす公演が終了した後の達成感毎回は毎回違う面白さだから辞められないと思います。メイクは役者の表情を際立たせる重要な役割があるので意外と苦労します...

望月彩乃(振付)

私はこの市民ミュージカルに高校三年間参加させて頂きました。今回、私の原点である市民ミュージカルに振付として関われる事をとても光栄に思い、毎回楽しく稽古に参加させて頂いています。今回のミュージカルはとても明るく元気になっていただけの一風変わったミュージカルです。見終わった瞬間、楽しかった〜と言って頂けるようにキャスト、スタッフ一同試行錯誤しながら稽古に励んでおりますので、是非観にいらして下さい。

演出・振付・脚色・作詞／三浦克也 作曲／海田次朗 編曲／大澤紀彰 歌唱指導／辻村典枝 稽古ピアノ／佐野晶子
舞台監督／川口雄一郎 音響／長谷川圭一 照明／建部佳紀 舞臺助手／佐野務 舞臺助手／渡井理恵
衣裳／牧野ちや子 美術／望月純子 美術補／神尾みや子 小道具／横沢真由美 振付／望月彩乃 メイク／望月幸子
衣裳部／秋山里江子、大石浩弥、荻谷浩美、志水文子、坪井美千代、西川文代、久松彰子、深川千鶴、望月典子、渡辺悦子、渡辺かおり
制作／矢部哲也

